

カリキュラムマップ

		1年次	2年次	3年次	4年次	DP
専門分野	基礎栄養学 応用栄養学	基礎栄養学 応用栄養学Ⅰ	応用栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅲ	基礎栄養学実験 応用栄養学実習 スポーツと栄養		地域における生活を理解し、乳幼児、要介護者、単身高齢者等の個々に対する食事援助、栄養補給の開発等を行うために必要な力を身に付けている。
	栄養教育論	栄養教育総論 栄養教育各論Ⅰ	栄養教育各論Ⅱ	栄養教育各論実習		地域および職域における栄養改善の推進、栄養評価計画への参画等を通じて、地域住民の健康と生活の向上に貢献する力を身に付けている。
	臨床栄養学		臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ	臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅲ 臨床栄養学臨地実習Ⅰ	臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学臨地実習Ⅱ	医療の分野において、傷病者に対する療養のために必要な臨床栄養管理を行う力および
	公衆栄養学		公衆栄養学Ⅰ	公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習	公衆栄養学臨地実習	地域および職域における栄養改善の推進、栄養評価計画への参画等を通じて、地域住民の健康と生活の向上に貢献する力を身に付けている。
	総合演習			総合演習Ⅰ	総合演習Ⅱ	保健・医療・福祉の概念と、これらの職種間の連携・協働の意思を理解し、チームとしての業務に参画できる力を身に付けている。
専門基礎分野	社会・環境と健康	家族社会学 生涯発達論 公衆衛生学 社会福祉概論	臨床心理学 人権と法 公衆衛生学実習 疫学 介護概論 カウンセリング・コミュニケーション論	健康管理論 健康管理論実習 医療概論 医療福祉論 カウンセリング・コミュニケーション論演習		地域および職域における栄養改善の推進、栄養評価計画への参画等を通じて、地域住民の健康と生活の向上に貢献する力を身に付けている。
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖学 生理学 生化学Ⅰ 食品学総論	解剖生理学実験 生化学Ⅱ 生化学実験Ⅰ 病理学 感染微生物学 薬理学 臨床医学 食品学各論	生化学実験Ⅱ 運動生理学 食品衛生学実験	食品機能学	医療の分野において、傷病者に対する療養のために必要な臨床栄養管理を行う力および
	食べ物と健康	食品学実験Ⅰ 食料経済学 食品有機化学 調理学 基礎調理学実習 応用調理学実習	食品学実験Ⅱ 食品衛生学		食品の保存と製造 食品製造実習	地域における生活を理解し、乳幼児、要介護者、単身高齢者等の個々に対する食事援助、栄養補給の開発等を行うために必要な力を身に付けている。
教職課程	教職概論 教育原理 教育心理学	教育課程論 特別活動論 教育方法・技術論	栄養教諭論 食生活・食文化論 食教育指導法 道徳教育論 生徒指導論 学校カウンセリング	栄養教育実習事前事後指導 栄養教育実習 教職実践演習(栄養教諭)		児童・生徒に対する「食」の指導はもとより、保護者を啓発し、「食」のあり方をともに考え、改善に寄与する力を身に付けている。
卒業研究				卒業研究	保健・医療・福祉の概念と、これらの職種間の連携・協働の意思を理解し、チームとしての業務に参画できる力を身に付けている。	
連携教育	地域との協働Ⅰ	地域との協働Ⅱ	地域との協働Ⅲ 保健福祉連携論			
教養教育	1. 言語・情報・スポーツ……「言語・リテラシー」「情報統計」「スポーツ」 2. 人と社会・自然の理解……「人と文化・思想」「人と社会・制度」「人と自然・環境」 3. 地域の理解  ※ 教養教育のカリキュラムは「言語・情報・スポーツ」「人と社会・自然の理解」「地域の理解」の3つの区分された科目群で構成されています。 ※ 教養教育科目はすべての学年に配当されています。また開講年次以降の学年であっても履修することができます。					

DP=ディプロマポリシー  
(栄養 学科)

- 1 医療の分野において、傷病者に対する療養のために必要な臨床栄養管理を行う力および食事療法の実践を行うために必要な力を身に付けている。
- 2 地域および職域における栄養改善の推進、栄養評価計画への参画等を通じて、地域住民の健康と生活の向上に貢献する力を身に付けている。
- 3 地域における生活を理解し、乳幼児、要介護者、単身高齢者等の個々に対する食事援助、栄養補給の開発等を行うために必要な力を身に付けている。
- 4 児童・生徒に対する「食」の指導はもとより、保護者を啓発し、「食」のあり方をともに考え、改善に寄与する力を身に付けている。
- 5 保健・医療・福祉の概念と、これらの職種間の連携・協働の意思を理解し、チームとしての業務に参画できる力を身に付けている。